

進路だより

山形県立ゆきわり養護学校
進路部
平成30年7月25日発行
第1号

進路だよりに寄せて

校長 佐藤 敦

個に応じた指導・支援を継続して行うためには、お子さん一人一人に期待する具体的な将来像を明らかにすることが大切です。そして、期待するよりよい将来像を実現させるためには、その将来像につながる道筋、つまり現在の課題を明らかにし、さらにその課題達成後の新たな課題を明らかにし……という到達までの過程を明確化しながらキャリア教育を充実させる必要があります。

このよりよい将来像は、卒業後の豊かな生活のことであり、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現した姿と言い換えることができます。卒業後の豊かな生活や役割を果たすこと、自分らしく生きることは、卒業とともに突如として実現するものではありません。現在の生活を豊かにすること、日々役割を果たしながら自分らしく生きていくことを繰り返すこと、つまりそのような生活を積み上げていくことでしか実現できないと考えております。

また、役割を果たすことは、将来の職業生活以外にも、家事や学校での係活動、あるいはボランティア活動などの多様な活動があり、一人一人が家庭生活や学校生活、社会生活等の全ての生活の中で経験する様々な立場や役割を遂行する活動として幅広くとらえる必要があります。そう考えると、お子さんが意識せずに、または、それとは気づかずに活動していることの中にも、実は、役割を果たしている場合があるのではないのでしょうか。そのような、気づきにくいお子さんの役割についても、保護者の皆様とともに確認していければよいと考えております。

さて、私たちは、進路先を考え決めるためには、保護者の皆様から早めに準備していただく、つまり進路に係る情報を早めに広く収集したり、実際に事業所等を見学したりしていただくことが、とっても大事であると考えております。高等部卒業の時期が迫れば迫るほど、誰でもが焦ってしまいます。決してそうならず、できる限り早めに「備えあれば憂いなし」の状況を作り上げていただくのが良いと思っております。

進路だよりには、将来的な進路に関する情報について、できるだけ詳しくお伝えしたいと考えています。ご高覧いただくとともに「もっとこんな情報がほしい。」「〇〇市に、定員の満たない事業所はないか。」などのご要望、ご質問を遠慮なくお寄せいただきますようお願いいたします。



高等部の就業体験終わる

2年生が6月21日（木）から6月27日（水）にそれぞれの日程で就業体験を行いました。この体験は、卒業後の生活をイメージする機会であり、社会のルールやマナーなどの学びを深めることができます。これまで学校や家庭でつけてきた力を学校生活とは違う生活の流れや環境で試し、自分の良さや課題、適性について知る貴重な体験となりました。

今回就業体験を行った事業所をご紹介します。



- ① のぞみの家（鶴岡市茅原町）製作活動、レクリエーション活動など
- ② 赤とんぼ（米沢市通町）パン作りと販売の補助作業、ギフト箱組み立て作業
- ③ メディアかがやき（山形市東山形）パソコン作業、軽作業、郵便物発送等
- ④ 山形県ワークショップ明星園（山形市）ダンボール組み立て、裁縫、創作活動
- ⑤ 恵光園（山形市蔵王半郷）散歩、シールはり、塗り絵など
- ⑥ こ・こあハウス（上山市東町）軽作業、創作活動、読書（読み聞かせ）など
- ⑦ ゆにぷろ（高畠町高畠）軽作業など
- ⑧ 国立病院機構 山形病院（山形市行才）見学
- ⑨ 山形県立こども医療療育センター ほがらか（上山市河崎）見学



なお、3年生については個別の就業体験となります。長期休業中なども利用しながら、卒業後の生活をより現実的に考えての体験になります。

～ 「つながる」ことで夢が生まれる ～

人は誰でも役割をもっています。就職してどんな仕事をするかということ以外にも、係活動や家事などがそれです。また、「〇〇さんがいると自然に笑顔になってくるね。」とか「〇〇さんは頼もしい存在だね。」などは、周囲の人を優しい気持ちにさせる役割や安心させる役割をもっていると言えます。このような役割をもつことによって、人は「つながる」ことができるのです。自分が自分自身とつながる、自分が誰かとつながる、自分がものやできごととつながる、そして、社会や世界とつながっていく。つながることが広がっていくと、「もっとこうしたいな」、「もっと誰かに喜んでもらいたいな」、「もっとこんなことを実現したいな」。それを繰り返していくと「自分はこんな人になりたい！」がはっきりしてきます。人はそれを夢と呼びます。

進路指導のはじめの一步は「つながる」ことです。そして、その一步が夢を生むのです。誰もがもっている役割をお互いに認め合うことが大切なのです。

進路指導主事 齊藤博之